

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	山口市家庭教育支援チーム (呼称:つくし)
②活動拠点	大内地区 大殿地区 宮野地区 仁保地区
③活動範囲	山口市内
④組織体制	<u>7 人</u> 民生委員・児童委員1名、主任児童委員1名、学童保育支援員1名、 地域学校協働活動推進員2名、元教員1名、現任教員1名
⑤活動開始年度	2018 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 山口市教育委員会社会教育課 (TEL)083-934-2865 (E-mail)s-kyoiku@city.yamaguchi.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☐ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 2018 年度から家庭教育アドバイザーとして山口市内の北東部地区にて活動を開始。最初の取組として、各小・中学校へパンフレットを持参し、校長を訪問し認知してもらうことから始めた。その中で少しずつ活動の幅を広げていき、参観日・懇談会・就学時健康診断・仮入学等での保護者向けの「保護者カフェ」を実施し、保護者同士の交流や個別相談を行っている。コロナ禍以前には、仮入学の際、教育講座の中で担当課と共に保護者向けに「家庭教育とは」をテーマに話す機会もあった。 上記の活動以外にも、地域の行事でパンフレットを配布したり、誰でも立ち寄りやすいカフェを地域のイベントで実施したりするなど、学校内だけでなく地域の中へも活動を広げている。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	活動当初は周囲の認知度が低く、アドバイザーの存在を知ってもらうことから始めた。地域や学校にも少しずつ認知されるようになって、学校内での「保護者カフェ」を実施。その際、保護者の方がカフェに入りやすいように、ハンドマッサージを行なっている方に協力いただいて体験してもらったり、花生けの行事と同時開催したりなどの工夫を凝らしている。また、保護者のみならず教職員や隣接学校の PTA の方等にも見てもらうことで徐々にカフェを行なう学校が増えている。学校だけでなく、地域の方とも連携することにより活動の幅も広がり始めた。カフェの実施やアンケート等で、今まで埋もれていた悩みを抱える保護者を見つけ、個別相談へと繋げることができた。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()